

鹿苑の役割について

鹿苑のあり方等を検討するにあたり、鹿苑の設立経緯から時代の変化に応じた鹿苑の役割の変化を整理し、現状の鹿苑の役割について提示する。

1. 鹿苑の設立経緯

- ・シカの収容施設は、古くは 1873 年、農作物被害対策を目的として県により「鹿園」（木柵）が建設され、700 頭以上の鹿を収容していた。しかし、当年の 11 月、餌不足などで多くの鹿が死に 38 頭まで減少し、のちに鹿を解放して、絶滅を免れた。
- ・また、1892 年、新たに収容施設「鹿園（木柵）」が建設された。これは、シカが公園の外に移動することで生じる農作物への食害防止に加え、人による殺生や野犬による噛殺からの個体保護を目的としたものである。ラップと餌により誘引し、シカの夜間収容を図った。
- ・現在の鹿苑は 1929 年、昭和天皇御大典に合わせて現在の場所に建設された。
- ・角きり場が併設され、後に区画の拡張と救護作業施設の設置が行われた。

出典：奈良の鹿愛護会 HP, 渡辺（2010）, 東城（2015）

2. 鹿苑の役割の変化

- ・鹿苑は、元々農作物被害対策と神鹿保護、観光資源としてのシカの活用を意図して建設された。
- ・鹿苑は、愛護会の保護活動の拠点という位置づけのもと、愛護会の活動幅の広がりに応じて役割が多様化している。

3. 現在の鹿苑の役割

鹿苑の役割として、現状の愛護会の活動目的や活動内容から以下の 3 つが主な役割として考えられる。

① 「奈良のシカ」と人の共生施策としての伝統行事の保存継承の場

鹿の角切り、鹿寄せ、慰霊祭等の実施

② 「奈良のシカ」の保護収容施設

傷病シカ、妊娠シカの保護のための収容施設

農作物加害シカの収容

※今後は、鹿害対策としての農作物加害シカの収容は縮小させる（施設の維持管理業務の縮小含む）。

③ 「奈良のシカ」の保護育成のための調査研究及び普及啓発活動拠点

「奈良のシカ」の生息環境保全のための生息状況調査等の調査研究及び「奈良のシカ」と人が共存する地域づくりのための普及啓発活動（展示、セミナー、体験プログラム等）の拠点。

「奈良のシカ」の保護に関係する各団体や愛護会支援者等による保護活動の拠点。

表 1 現状の愛護会の活動内容と鹿苑活用の対応（出典：愛護会 HP）

活動	内容	鹿苑活用
(1) 「奈良のシカ」の保護育成	<ul style="list-style-type: none"> ・生息地内の巡回パトロール ・負傷・疾病鹿の救助・救出 ・通報等による緊急保護出動 ・治療手当及び公園への復帰 ・妊娠したメス鹿の一時保護 ・オス鹿の一時保護及び除角 	○
(2) 保護育成に関する調査研究	<ul style="list-style-type: none"> ・生息地内頭数調査・エリア別頭数調査 ・身体計測及び個体識別調査 ・行動圏調査 ・死亡原因の特定調査 ・大学、その他研究機関等との協力連携による研究調査 ・鹿に関する歴史資料の整理収集、保存 	○
(3) 保護事業のための普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良のシカの魅力や保護について伝える取り組み ・鹿苑公開 ・特別公開「子鹿公開 ～赤ちゃん鹿大集合！～」 ・国の天然記念物「奈良のシカ」保護 ・鹿の愛護を広く呼びかける愛護月間(6・11月) ・定期情報紙「鹿かわらばん」の発行、その他刊行物への情報発信 	○
(4) 生息環境保全のための活動及び環境教育 鹿と人が共存する地域社会づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿の生態について理解を広げるための広報活動 ・鹿と人とのトラブルを未然に防ぐ対策 ・ゴミのポイ捨てによる鹿の誤飲、事故を防ぐ環境保全活動 ・交通事故防止対策 ・犬の放し飼い、捨て犬防止の広報活動 ・エサやり禁止の啓発活動 ・鹿に関する歴史資料の整理収集、保存 	
(5) 生息環境保全のための活動及び環境教育 環境教育・環境学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・研修・職場体験学習 ・奈良公園を訪れる団体を対象にした体験プログラムの提供 ・教育機関等を対象としたセミナー、出張講座・講演 	
(6) 各伝統行事の保存継承	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿の角きり ・鹿寄せ ・鹿まつり 	○
(7) 施設の維持管理	快適な保護環境を提供するために、 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理 ・施設の定期的な消毒・清掃 ・施設の保守点検・補修・整備 ・鹿苑改修計画事業と連携した事業の推進 	○
(8) 諸団体との連携協力・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・関係する各団体との連携した鹿の保護への協力体制づくりの推進 ・会員や支援者による鹿の保護活動への多角的な支援 ・その他この法人の目的を達成するために必要な事業 	

【参考文献】

奈良の鹿愛護会 HP: <https://naradeer.com/learning/hogonorekishi.html>

渡辺伸一（2010）近代における奈良の鹿—「共存」への模索と困難（1868～1945）；奈良の鹿愛護会（監修）『奈良の鹿「鹿の国」の初めての本』, p.171-214

東城義則（2015）都市公園とその周辺における野生動物群の行動管理—奈良公園における鹿寄せの成立—；『京都民俗』33号, p.87-107